

【件 名】	路面補修工事（6西の8）	【事務所名】	西多摩建設事務所	
【工事場所】	東京都あきる野市五日市地内 主要地方道上野原あきる野線(第33号)檜原街道	【受注者名】	成友興業株式会社	
【工 期】	令和6年11月11日から令和8年1月7日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 佐野 文哉	

【工事概要】

部分断面打換工、歩道舗装工(ILB)、
プレキャスト街きょ工155型、歩道止工、植樹帯縁石工
ガードパイプ設置工、都型パイプ柵設置工、
視覚障害者誘導用ブロック、区画線工

【表彰理由】（※発注者側評価）

本工事は、一般的な路面補修工事に比べ、街築や安全施設など多岐にわたる工種があったが、道路利用者への安全管理に努めるとともに、作業員の安全管理面においては、猛暑期を跨ぐ工事であったが、熱中症対策に特に力を入れ、無事故で工事を完了させた。工事施工にあたり、沿道の出入りや商店の営業に配慮し、切下げ箇所では昼間施工から夜間施工へ変更し、地域の行事への対応として、部分的な開放を行うなど、様々な要望に応じながら、きめ細かな工程管理を行い、既存部分とのすりつけや高さ調整等を丁寧に施工し、工事の仕上がりは大変良好であった。全ての段階でICT施工やオンライン電子納品の導入など、前向きな取組姿勢は他の模範となる。加えて、HTTや低炭素化の取組によって二酸化炭素の排出抑制に大きく貢献した点は高く評価できる。



施工前



施工後

【受注者の声】

- ◇ 苦労した点
車道全体で約5cmの嵩上げとなる現場であったため、工事着手時から、すりつけ部の合材飛散や段差による事故防止、ならびに水はね対策に配慮し、注意喚起の実施や巡回、清掃に努めました。
- ◇ 特に工夫した点
工事着手前に工事のお知らせを配布する際、沿道の商店街や病院の配送時間・営業時間等を事前に確認しました。あわせて、バス会社とも綿密な打合せを行うことで、関係者との調整を円滑に進め、工事を支障なく進めることができました。
- ◇ 現場で得られたやりがいや達成感
ICT施工や遠隔臨場、HTTといった新しい取り組みに挑戦しました。特にICT施工では、出来形品質の向上や重機周辺作業の低減による安全性の向上を実感でき、無事故で完工できたことに大きな達成感を感じました。
- ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと
建設業は、社会を支えるやりがいのある仕事です。これからはICTなどの新しい技術を活用していく機会がますます増え、若手技術者が活躍できる分野も広がっていきます。新しい技術と柔軟な働き方を取り入れ、これからの建設業を一緒につくっていきましょう。



ICT（測量・建機）を活用した路盤施工状況